

生きいき



ガーデニング講習会 (甲斐市竜王中部公園)

目次

- 2頁・公益社団法人に
移行して一年
- 3頁・平成24年度地区会議
発生状況
- 4頁・理事研修
・就業開拓事業
- 5頁・各種講習会
・各地区親睦会
・職群班訪問
- 6頁・発注者からひとこと
・私たちの奮闘記
- 7頁・会員のひろば
・甲斐路
- 8頁・事務局からのお知らせ

公益社団法人
峡中広域シルバー人材センター

〒400-0115
山梨県甲斐市篠原2644番地3
TEL 055-279-6626
FAX 055-279-6620
<http://www.sjc.ne.jp/kyochu/>

公益社団法人に移行して一年

適正就業の法令順守と 安全の確保・接遇の点検を

昨年4月、会員及び関係機関の理解と協力により、公益社団法人に移行して一年が経過しました。
センターの運営にも色々と変化がある中で、社会的信用の高まりとともに、就業でも法令遵守が一層求められており、今まで以上に会員一人ひとりが、公益社団法人の会員であることを自覚し、改めて次の課題に取り組み必要があります。

適正就業にご理解を

公益社団法人移行により、信頼性の向上が図られた一方で、法令遵守が強く求められます。

センターの就業形態は請負・委任契約に基づく、臨時的、短期的、軽易な仕事で、適正就業の確保には、いろいろと法令の制約があり、守らなければなりません。

今後、関係法令に抵触するような就業については受注内容を調整し、また、適法への調整が出来ない就業については、発注者からの契約を終了する場合がありますので、ご理解をお願いします。

安全確保の徹底を

センターでは様々な仕事を請負っており、会員自身や周囲に対

する安全確保が最も重要です。

もちろん、就業場所だけでなく、行き帰りの交通安全も同様です。「安全はすべてに優先する」を合言葉に会員一人ひとりが「安全心得10力条」を再確認し、自覚を持って行動しましょう。

接客・接遇の点検

お客様（発注者）は、私たちの言動を通じてセンター全体を判断しています。会員一人ひとりがセンターを代表して働くのですから、一人が軽率な行動や言動をすれば、センター全体の信頼が失われることとなります。

また、大切な仕事を無くすことにもなりかねません。

お客様との対応の中で、常日頃から次のことを心がけましょう。

(1) あいさつ

「挨拶から始まり、挨拶に終わる」と言うようにスムーズな人間関係をつくる第一歩です。

「言葉+表情+動作」に気を配り、積極的に実行していくことが、大切です。

(2) 言葉遣い

人は言葉で身体も気持ちも動くものです。言葉一つで相手に不快感を与えたり、思いが曲がって伝わってしまうこともあります。

話す時は、「丁寧」「ゆつくり」と「親しみのある話し方で、まごころ」を込めて伝えましょう。

平成24年度地区会議開催される

1月18日から2月2日までの間、12地区が7会場に分かれて、平成24年度地区会議を多数の会員の出席のもと開催しました。

各地区会議での質問・回答

質問：コスモス畑に花見会のPR看板設置を

回答：昨年度から設置しているが、周知期間が短かったため、次回からは早い時期に看板を設置し、PRしていく。

質問：就業中のケガ等の保険適用は

回答：会員は各自の健康保険証で治療を受けることになるが、まれに使えないケースもあるため、現在、国において対応を審議中です。尚、保険適用とは別に、センター

が加入している「シルバー傷害保険」は適用されます。質問：契約額の地区別割合と会員の就業配置について

回答：地区別の事業実績については、統計上、各地区発注の公共・民間の契約額を計上しており、今後も、その地区の会員を優先に配置していく。



拍手で確認する竜王地区会議

転落事故発生

平成24年度事故発生状況

平成25年2月までの事故発生状況は、傷害事故6件、賠償事故5件の11件となっております。

傷害では、植木作業中の転落事故により、頭部を強打し救急車を手配する事故になりました。医師の診断の結果、手首の骨折のみで頭部には異常は見られないとのことでした。

この事故については、脚立の上と下で作業しており、片付けをし

ていた会員が、脚立に接触し不安定な状態にさせた事によるものです。ヘルメットを着用していたことと頭部は大事には至りませんでした。ヘルメットを着用していましたが、それをかばった為か手首を骨折し就業の長期離脱をする事になりました。

今後においても、安全就業の基本として脚立の固定・ヘルメットの着用・安全帯の使用等、安全就業の徹底を図り、「安全は全てに優先する」を合言葉に、事故ゼロを目指して頑張りましょう。

事故発生件数の推移

平成25年2月末日現在

年度	会員数 (人)	就業 実人員 (人)	事故発生件数				
			傷害事故			賠償 事故	合計
			途上	就業中	小計		
21	920	817	1	4	5	8	13
22	933	825	1	6	7	10	17
23	899	835	2	6	8	5	13
24	906	808	2	4	6	5	11

傷害事故発生状況

事故の種別	事故の内容	件数
転倒	洗濯作業中転倒し膝・手首・肩を骨折	1
交通事故	バイクに乗り交差点で車と接触	2
転落	脚立に乗りバランスを崩され転落し手首骨折 イスに乗り滑っていたところバランスを崩し転倒	2
はさまれ	剪定枝粉碎機の扉に手(指)を挟んで裂傷	1
合計		6

賠償事故発生状況

事故の種別	事故の内容	件数
草刈作業	飛散物で建物等のガラスを破損による損害	2
舗装補修	ガスバーナーの熱風で樹木の枯れる損害	1
就業中	玄関扉の錠前部分を破損による損害	1
就業途上	追突事故による対物の損害	1
合計		5

安全就業を学ぶ

長野SC理事研修(第1班)

昨年11月22日、理事職員9人が安全教育に熱心な長野シルバー人材センターへ研修に行きました。

安全就業について、特に刈払機の防護ネット設置や新入会員の講習会はリーダー会員を中心に1日現場に出て実技を行う等積極的に行われていました。

また地域班に公共事業の除草作業を任せるなど就業率が98%と高い秘訣も学ぶことが出来ました。



安全就業について意見交換

家事援助を学ぶ

武蔵野市SC理事研修(第2班)

昨年11月27日、理事職員9人で武蔵野市シルバー人材センターに伺いました。研修テーマは家事援助事業とリサイクル事業です。



自転車リサイクル事業

特に家事援助事業は実績4億3千万円の内約4千万円と8.7%を占め、当センターの実績4億2千万円の内の120万円0.3%に比べ、非常に活発な取り組みを行っていました。内容は掃除・食事作り・買物・洗濯・アイロンかけ・布団干し・通院付き添い・薬取り・散歩付き添い・留守番・話し相手等です。

武蔵野市SCでも取り組み当初は受注件数が少なかったが、会員の皆様の努力により地域に事業が浸透し現在のような大きな実績に結びついたそうです。

今後家事援助事業は特に需要が見込まれる分野であり当センターにおいても力を入れて行きたいと思っております。会員の皆様のご協力をお願いします。

就業開拓と講習会

就業開拓を 各地で展開

10月のシルバー人材センター全国普及促進月間に合わせ、当センターにおいても会員一人5枚のチラシ配布活動をはじめ、イベントなどで様々なPR活動を実施しました。

実施内容は写真の通りです。



10/25 オギノ街頭PR



10/13 コスモス花見会



10/7 昭和町ふるさとふれあいまつり



10/14 甲斐市わくわくフェスタ



11/3 中央市稲穂まつり

植木剪定「新人育成」

安全講習会

昨年10月、甲斐市敷島総合公園において、ここ数年入会した新入会員17人が参加し、剪定方法や安全就業を学ぶ新人育成講習会が行われました。

講師は甲斐市造園組合会長・美園造園土木武藤洋一社長にお願いし、枝抜きや刈込の方法と脚立や道具の安全な取扱について熱心に学びました。今後も技術習得の向上を図り各地区の植木班に所属し活躍される事を期待しています。



脚立の取り扱いを学ぶ新入会員

ガーデニング講習会

昨年11月広くシルバー人材センターを知ってもらうことを目的に一般の住民も参加してガーデニ

ング講習会を実施しました。

昭和町花俱樂部渡辺美佐子先生を講師に迎え、竜王会場10人、田富会場9人が参加し思い思いの寄せ植えを楽しみました。竜王会場では、CATVの取材もありPRに一役かいました。(写真は1面)

ミニ門松作り講習会

昨年12月一般住民と会員との交流を深め入会のお誘いをする目的で敷島地区井上正一会員を講師に迎えミニ門松作り講習会を実施しました。竜王会場7人、玉穂会場7人と参加人数は少なかったが、人数には負けないりっぱな門松が出来上がり、持ち帰った門松はお正月にそれぞれのお宅に飾られ穏やかな新年を迎えました。



りっぱに出来上がったミニ門松

親睦会・職群班



竜王地区
1月18日かまなしの湯で新年会を実施しました。参加者は41人。
グラウンド・ゴルフは偶数月第1土曜日竜王南部公民館運動場で実施。会員は現在20人。



双葉地区
1月26日ドラゴンパークにてグラウンド・ゴルフ大会を実施しました。参加者は28人



玉穂地区
12月8日湯殿館で忘年会を実施しました。参加者は27人。



田富地区
今年度はグラウンド・ゴルフ大会を6回実施しました。会員は38人、場所は田富ふるさと公園ほかです。

交流を深めました
各地区親睦会

互助会が解散され2年目、各地区では自主的に様々な親睦会が開催されています。

職群班訪問

田富地区植木班

今回はメンバー6人で奮闘する、田富地区植木班の鈴木リッダーを訪ねました。

「今日は予定より早く終わりましたので」とおっしゃったその顔は、疲れた様子もなく、爽やかな笑顔が印象的でした。

剪定に適しているのは草木が休眠期に入る前で、鈴木リッダー達が一番忙しい時期でもあります。

発注者は、公共よりも個人からの依頼が多く、大きささまざまな規模があり、6人のメンバーが分かれて作業をすることもあるそうです。最近では、何年も手入れをせずに放置されている庭が目立ち、作業もその分大変で時間もかかるそうです。

「木の種類やその特性を知った上で取り組む作業なので、技術面だけではなく、ずっと勉強ですね。作業する人のセンスも活かされるので」と植木班の仕事の深さも語ってくれました。

経験を必要とする作業だけに高齢の作業員もいらっしやいます。

す。安全面では、そういった方達にはなるべく低い位置での作業をしてもらい、ヘルメットを着用し、脚立が倒れないかを確認してから作業を始めて貰うそうです。

やりがいについて訊ねてみると「朝、施主の要望を聞き各人に伝えてから作業を始め、最後の掃除は丁寧になります。そして作業が終わったときに、施主の方に『ありがとうございました。暑いも寒いも忘れ本当に嬉しさを感じます。』

技術や経験を必要とし、受注数も多い作業です。今後は後継者がますます必要になる仕事であると感じました。(三富)



山王団地で奮闘する田富地区植木班

私たちの奮闘記

会員になって2年目、今年度は甲斐市の玄関口である竜王駅南北ロータリー及び周辺の花壇に四季折々開花する草花・花木（チューリップ・パンジー・芝桜・松葉ボタンなど）を4人で『上農は草を見ずして草を取る・・・』の格言を合言葉に、早めの除草・清掃、適宜の灌水を心掛けています。
特にこの夏は人にも、植物にも過酷な記録的な猛暑の中、植物に

みんなの竜王駅

竜王地区 小泉 久孝

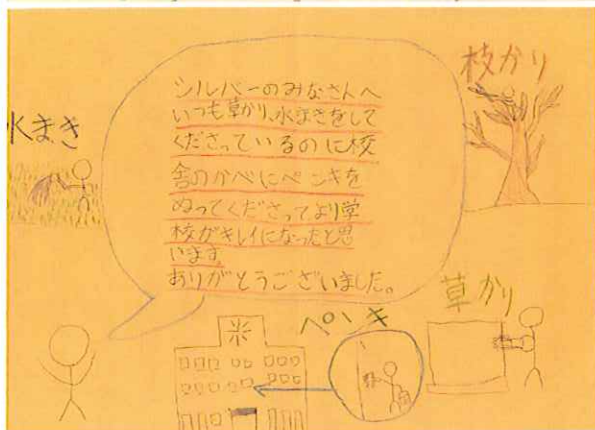
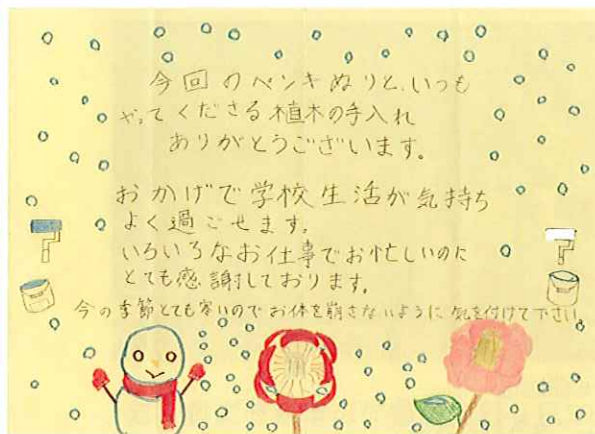
触れたり、土壌の様子から健康状態を判断し、水やり量・間隔・位置などに注意を払い、日焼け防止、水分不足の解消に努めたものです。



写真右から2人目が小泉さん

発注者からひとこと

甲斐市竜王西小学校
6年児童 23人から作業した会員にお礼の手紙が届きました。



代表2通を掲載しました

仕事は早く綺麗に

敷島地区 田中 嘉信

40年、勤務した職場を退職し、その後シルバーの会員になり、植木班の一員として、植木の剪定作

業をすること早くも7年が過ぎました。良い仕事をしなきゃならない、そうでないと何十年、何百年も生きてきた木に申し訳ないと、無我夢中でやってきました。

私達植木班の仕事はお客様あつての仕事ですから、その日の現場において当然のことながら、お客様の要望を十分に聞き、そうした中でその木の特性など伝え、最も適した剪定方法により取り組んでおります。

仕事の性質上、高所での剪定作業もあり、お客様の庭先で怪我があつては申し訳ないと、会員同士声を掛け合い、事故防止に努め、作業終了後はお客様に説明し確認を得ると共に成果をみてもらう事が大事であり、『仕事は早く綺麗にをモットーに』これからも、好きな仕事を続けたいと思います。



会員のひろば

刺繍

田富地区 岩下 順子

30歳過ぎから始めた編み物をきっかけに、刺繍にも挑戦しました。作品は1年かけて仕上げました。



女性部の額を作成

女性部の手芸班で色紙をまるめて貼って額を作成しました。会議室に飾ってあります。



私の健康法

楽しい

サイクリングで健康づくり



竜王地区 中島 紀佐夫

サイクリングを始めたのは10年前に友人が身体全体に良いからと勧められて、スポーツタイプの自転車を購入して2万5千キロ乗って変速ギヤがだめになり、今回はマウンテンバイク24段変速を購入して今乗っています。

コースは信玄橋から開国橋、中条橋、浅原橋、三郡橋までのサイクリングロードで楽しんでいきます。信玄橋から三郡橋まで行くと来ると約25キロに、1時間20分から30分くらいかかります。冬の場合は行く時は22キロくらいのスピードで走れますが、帰りは10キロ以下で帰ってきます。春にはサイクリングロードに、次から次へと花が咲いてくるのでこれが楽しみです。

今までサイクリングをしていて

甲斐路

ふるさとの地名(六)

笛吹の音が

聞こえる乙黒

玉穂町は昭和30年に稲積村と三町村が合併して玉穂村となり、その後、町制を施した。

稲積村は明治7年に井之口、極楽寺、西新居、中楯、成島、乙黒の6カ村が合併してできた村。このうち井之口は水路の取り入れ口、中楯は古文書に中立の文字が使われているので、隣の西新居と反対側の東新居の間にある村という意味だったと思われる。

乙黒も古い書物には音黒と記されている。「くろ」は地域の

大変だったのは、三郡橋付近でパンクしてしまい自転車を押して信玄橋まで帰って来た事を思い出します。大変でした。
また山が好きで登っていますがみんなに遅れないように登ることが出来ています。人間ドックを毎年受けていますが特に異常が見られないので、楽しいサイクリングが出来るように心掛けて行きたいと思っています。



境の意味があるので、近くを流れる笛吹川の音が聞える境の村といった意味だろう。

旧三町村はまず明治七年に、上三ノ条、下三ノ条が合併して三条村になった。また明治八年に下河東、一町畑、町ノ田の旧村が合併して出来た暖村とがあり、この二つが明治二年に合併、三町村と名乗った。

このうち下河東は現在、昭和町にある上河東に対する下河東で釜無川の東に位置しているところから河東と名づけられた。また暖は「あぜみち」の意味で、田舎道があったところだろう。

(テレビ山梨

ふるさと地名考参照)

事務局からのお知らせ

アンケート結果

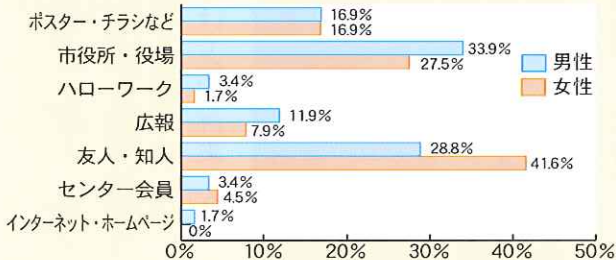
【調査の目的】

シルバー人材センターに対して住民がどのような意識を持っているのかを把握するとともに、組織の拡大と充実を図ることを目的に実施しました。

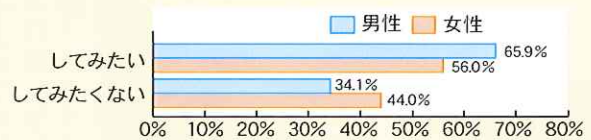
【対象者】

甲斐市・中央市・昭和町60才以上の住民200人

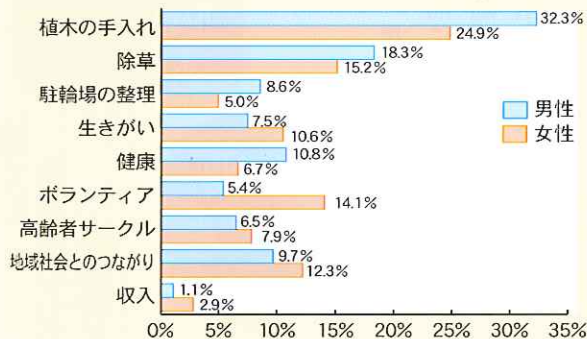
1. どちらでシルバー人材センターを知りましたか



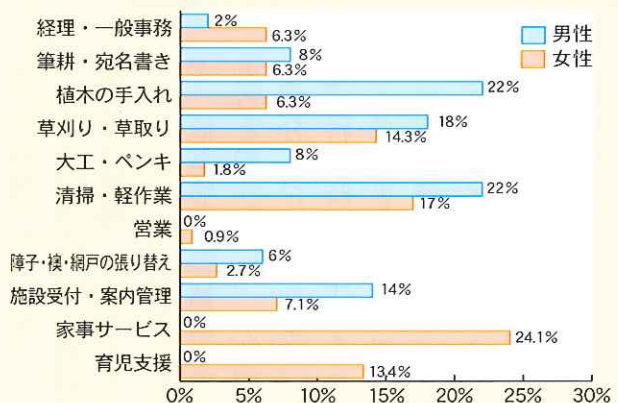
3. 登録して仕事をしてみたいですか



2. シルバー人材センターのイメージは(複数回答)



4. 具体的にしてみたい仕事は何ですか



【まとめ】

公共事業も厳しく、民間企業も不況で受注が減ってきている中で、今後伸びていく分野として家事援助サービス事業があげられます。当センターにおいてもこの分野に力を入れていきたいと思っておりますので会員の皆様のご協力をお願いします。

各小学校に交通安全旗寄贈 コスモス花見会収益金

コスモス花見会も第4回を迎え今年度は事前のマスコミへのPR効果もあり、来場者も千人を超える大きなイベントとなりました。特に餅つきをコスモス畑で行い花を見ながらの楽しく美味しいひと時を過ごしました。

また一部収益金で管内小学校へ交通安全旗の寄贈も今年で3度目になり関係機関から喜ばれました。



昭和町向山教育長に寄贈する五味理事

今後の予定

○平成25年度定時総会

日時 5月24日(金)

午後1時30分

場所 昭和町総合会館

やむを得ず欠席する場合は、決議権行使書または委任状の提出をお願いします。

編集後記

本センターも公益社団法人に移行して1年が経過しました。会員一人ひとりがセンターの代表であるという認識をもって就業中の事故撲滅と接客・接遇の向上を図らなければなりません。

評価するのは、本人でも事務局でもなく依頼主であり、利用者であり、通りがかった人々です。

折しも、いま山梨県では国民文化祭が1月から11月まで通年で開催され、本日から「いのち、萌えたつ」をキャッチフレーズに春のステージがはじまりました。

各市町村では多彩なジャンルのイベントが年間を通じて開催されています。県内外から大勢の参加者が私達シルバーの管理している施設等にお見えになるでしょう。山梨の四季折々の魅力に水を差さないよう、心からの接客・接遇をお願いいたします。(畠中)

編集委員

- 畠中 久男・花木 正
- 中島紀佐夫・三富 延江
- 深沢 積善
- 小田切義夫・小田切まり子